荒川区立南千住第二幼稚園

平成 30 年 5 月 31 日
荒川区立南千住第二幼稚園
園長　　立石　晃子

6月 園だより

ホームページ　http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ youchien/ minamisenju2

色水遊びの中で幼児が経験していること

園 長　立 石 晃 子

今年は季節が前倒しになっているのか、まだ 5 月末であるのに梅雨のような湿気と気温になっています。調子を崩したり、熱中症にかかる恐れがあったりします。降園後はしっかり休息、睡眠をとり、体調管理に気を付けていただきたいと思います。園においても水分補給と休息の時間をしっかりとる、ということを続けていきます。

暑い日と言えば水遊び。年長児は園庭で色水遊びを始めました。ちょうどグリーンクラブの方が花壇の手入れをした際に出た花びらや葉を使うことができました。「せんせい！見て！」と青、黄色、緑など様々な色の色水をつくって見せてくれました。初めはぐるぐるとすりこぎで「混ぜて」いて、なかなか色が出ないことから「擦る」ということに気付く幼児、葉をたくさん入れてぐりぐりと擦り濃い色水をつくる幼児、薄い透明な「青色」をつくり満足そうな幼児、友達の色水を見て「真似てみたい」「いやいや自分は違う色を発見するぞ」と意欲を増す幼児、といった様子が見られました。

色水づくりの中で幼児は、色水の透き通った色に心を動かす、「やってみよう」「もっとやってみよう」という意欲をもつ、友達の行っていることやつくり方に関心をもつ、自分の好きな色にするための花・葉を選ぶ、自分がちょうどいいと思う水と葉・花の比率を考え混色する、力の加減、道具の使い方、友達につくり方を言葉ややってみせて教える・教わるなど、様々な「経験」をしています。このような経験は、幼稚園教育において育みたい「資質・能力」につながっていきます。

また、5 月の職員での会議で、子供たちは色水遊びに興味をもつだろうと予想、また、経験してほしいと話し合う場がありました。前年度の年長組では色水をつくるためにすり鉢とすりこぎを用意しました。さて今年は、この道具は年長組だけで使うのか、他学年も使ってよいのか、どうしようかということになりました。子供たちの興味を考えると、年長児がすり鉢とすりこぎを使い色水をつくっていれば、きっと年中・年少児も使い始めるでしょう。しかしそこを敢えて「年長組になったら使える」ものとしてみようということにしました。年長児にとっては「自分たちが大きくなったから使える」「大きくなったからこれらの道具を使いこなせる」という喜びと自信を、年中・年少児にとっては「年長組になったら使える」と大きくなることをより心待ちにする気持ちを育てたいと考えました。

遊びや子供たちの経験や心持ちを考えながら、子供たちの成長を支えていきます。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

＜3 歳もも組・りんご組＞
楽しみにしていたお弁当！みんなで食べるとおいしいね♪

連休明けから、楽しみにしていたお弁当が始まりました。排泄や手洗いうがい、支度等やることはたくさんありますが、少しずつやり方が分かってきて自分でやってみようと頑張っています。弁当箱を開けたときには毎日キラキラした笑顔を見せ、「先生、僕のお弁当見て♪」「○○ちゃん、卵焼き同じだね♪」とお弁当を見せ合ったり、おしゃべりしながら楽しくおいしそうに食べたりしています。入園してから２ヶ月が経ち、やりたい遊びを見付けたり、近くにいる友達の名前を覚えて呼んでみたり、みんなでする手遊びや体操が大好きになったりと、幼稚園で楽しいことをどんどん増やしている子供たちです。

６月は、雨上がりの園庭で梅雨ならではの発見をしたり、室内でも思いきり体を動かして遊んだりして、さらに楽しく過ごすことができるよう援助していきます。

＜4 歳たんぽぽ組＞
はやく大きくな～れ！毎日水やりがんばるぞ！

強い日差しに、一気に夏になってしまったかのような 5 月の後半。たんぽぽ組の保育室前では、みんなで植えたミニトマトの苗が力いっぱい葉を伸ばし、早くも実をつけ始めました。「毎日たくさん水をあげたらできたんだよ」「なんで赤くないんだろう」「赤くなったら食べたいな！」と、自分の感じたことや思ったことを話しながら、関心をもってかかわる姿が見られます。また、先日はグリーンクラブの方々やボランティアの保護者の方にお手伝いいただき、スズメウリと冬瓜の苗植えと種蒔き用の土作りをしました。身近な自然に興味をもち、生長に気づいたり、収穫を喜んだりしながら、様々な植物を丁寧に育てていきます。

好きな遊びでは、友達と一緒に場を作ったりイメージした物を身に付けて遊んだりすることを楽しんでいます。教師も一緒になって遊びながら、友達に自分の思いが伝わる喜びが感じられるように、互いの思いを引き出したり、伝え方を一緒に考えたりしながら丁寧に援助していきます。

＜5 歳ばら組・ひまわり組＞
年長組だからできるんだよ。考えたり工夫したりするのって楽しいね。

グリーンクラブのお母さんたちが園庭の花を整備してくださった時に、いろいろな草花をくれました。その草花を使って色水作りが盛り上がりました。すり鉢とすりこぎで擦ることで色が出てくるということを知り、「やってみたい！」と夢中になっていた子供たち、色が出てきたときは「わぁ！」と喜び、何度も繰り返して色水を作って楽しみました。友達と一緒に作っては溜め、違う色を試したり、水の量によって濃さが違ったことを不思議に思ったりして、思ったことを伝え合っていました。また、大型積み木を使い、基地や家を作ってごっこ遊びをしたり、ダンボールカッターを使って、ダンボールを自由自在に切ってみたりなど、年長組になって使えるようになったもので遊べることを喜びながら、自分たちの遊びに取り入れたり工夫したりすることを楽しみました。引き続き、様々な遊びの中で子供たちの工夫や学びが見られるように援助していきます。